



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 9月号
平成28年9月1日発行
発行責任者：野田 豊



【桜台地区祭・納涼子供相撲大会より】

結果より過程

校長 野田 豊

長い夏休みが終わり、学校に子供たちの歓声と校庭を元気に駆け回る姿が戻ってきました。ふと空を見上げると、湧き上がる積乱雲から箒で掃いたような秋の雲に衣替えをしています。騒々しかった蝉の鳴き声もいつの間にか虫の音に代わり、季節は移ろい早秋の訪れを告げています。

猛暑だったこの夏、天候だけではなくリオ・オリンピックの模様を伝える映像や報道は、テレビの前の私たちをさらに熱くさせました。特に、連日のように伝えられた日本選手の活躍は、多くの勇気や感動を与えてくれました。

悲願の金メダルを獲得した競泳、体操、柔道、レスリング、バドミントン等の選手の試合はもちろんですが、銀メダルや銅メダルを死守した選手の試合にも金メダル以上の興奮と感動的な場面がいくつもありました。そして、なにより4年に一度しかない大舞台上で残念ながら思うような力が発揮できず、悔し涙を流す結果となってしまった大多数の選手にも心から大きな拍手を送りたいと思います。スポーツは勝利という結果に目が行きがちですが、目に見える結果よりも人の目に触れないそれまでの練習、訓練、努力という過程にこそドラマが有り、美しく輝く価値があると思うのです。考えてみれば国を代表してオリンピック選手になるということ自体が、並大抵の努力では成し得ないことでもとても素晴らしいことです。自分の全てを賭けて血の滲むような練習を積み重ねオリンピックという夢の舞台に立った全ての選手の皆さんの首には、目に見えない金メダルがかけられていると思います。

オリンピックは閉会しましたが、これからパラリンピックが始まります。昨年、本校に来校していただき講演と実技指導をしてくださった陸上競技の山本 篤選手が走り幅跳びに出場します。子供たちと共に日本から声援を送りたいと思います。「がんばれ山本選手！！ 勝ち取れ金メダル！！」

今年も地域の風物詩である桜台地区祭・納涼子供相撲大会が盛大に開催されました。昨年に続き今年もぐずついた天候に見舞われてしまいましたが、模擬店には子供から大人まで多くの来場者が訪れ、焼きそばや焼き団子等を頬張りながら舌鼓を打っていました。また、体育館で行われた相撲大会には、大島親方（元旭天鵬関）が今年も駆けつけて来てくださり子供たちと楽しく相撲をとってくれました。このような行事はこの地域の宝と言えます。今後も学校と地域が一つになり、子供たちのために力を合わせて盛り立てていきたいと考えています。

お知らせ

- ・9月より学校生活臨時支援員として、永田昌宏さんが勤務します。よろしくお願ひします。
- ・9月より年間60日、3期に分け、教職大学院生の宮川秀夫さんが来校します。各学年に入り教育実習を行います。